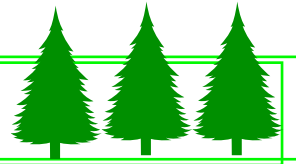




# みつぎ便り



第211号 4月号 令和6年4月1日発行 [http://itbs-ecopo.jp/environsurvey\\_report](http://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report)

板橋区役所南部土木サービスセンターの花づくりグループとエコポリスセンターのかんきょう観察員地域自主活動グループに所属しているボランティア団体「見次の会」です



## ツメクサ

今年の東京の桜の開花は三月に入り寒暖差の多い天気がつづき、桜前線も足踏みしてしまいました。4月の初めには例年どおり満開を迎えていると思われず。

上を見上げれば、桜、ハクモクレンなど、足下の花壇には春の草花、パンジー、ビオラ、スイセン、ムスカリなどが咲きほこり、昆虫も花の蜜や花粉を求めて集まっています。花壇の周りの道にも、ツメクサの白い花が咲いています。

ツメクサというと、読みは同じですが、シロツメクサなどを、思い浮



かべる方が多いと思えますが、別の種類の花です。シロツメクサ、アカツメクサ等はマメ科で、陶器などの梱包材の代わりに詰めた草、詰め草が語源です。

一方ツメクサはナデシコ科で、葉の形が、肉厚で先端が尖って鳥の爪によく似ていることから、爪草とついていたようです。地面を這うように生えていて気が付きにくいですが、背丈は二〜十五cm程度で、茎は主に根元から分枝しています。

三月〜七月位まで見られるので、公園の道を散歩するときに、足下の小さく可憐な白い花を見逃さないように、観察してみたいかがでしょうか。  
(圭)

## ムラサキサギゴケ

花の形がサギの頭に似ていることからサギゴケと名付けられました。生息場所は湿り気のあるところを好み、また、花の終わるころ、横に這う枝であるランナーを出し、上にはあまり伸びませんが、花の絨毯を敷き詰めたようにびっしりと拡がっていきます。

このムラサキサギゴケに似ている野草に、トキワハゼがあります



が開花時期やランナーの有無等で、違いが分るようになります。

花の時期はムラサキサギゴケが春から夏にかけてですが、トキワハゼは春から晩秋までと長く咲きます。また、花の大きさも前者は後者の三倍程度あります。さらに、前者は花の終わるころランナーが出てきますが、後者はランナーを出しません。よく観察すれば両者の違いが理解できるようになります。それぞれの個性を楽しんで見てはいかがでしょう。なお、少し専門的になりますが、従来異なっていた両者の分類も新しい分類ではサギゴケ属として統一されたようです。  
(利)